

まちづくり懇談会（高齢者）による意見聴取	
脇之島多寿会	平成 30（2018）年 11 月 18 日（日）午前 10 時～12 時 会場：脇之島憩いの家 参加者：17 人
南姫ラジオ体操会	平成 30（2018）年 11 月 28 日（水）午前 10 時～12 時 会場：ふれあいセンター姫 参加者：26 人
多治見市悠光クラブ 連合会	平成 30（2018）年 12 月 6 日（木）午前 10 時～12 時 会場：多治見市総合福祉センター 参加者：18 人
1. 道路・交通 ①市内交通渋滞がひどく移動に時間がかかる。交通網の整備だけでなく、生活のできるまちづくりをして欲しい。 ②市内一部の交通渋滞は信号機がアンバランス、特に狭い交差点では一方だけを通す変則信号が良いのではないかと。また、道路の状態が悪い。 ③近くにコンビニ・お店もなく、車がないと買い物も困る。今はあいのりタクシーか電車を利用して。高齢者がまちに出ればお金を落としてくれる。 ④あいのりタクシーは満足度が低い。地域に負担があるのは地域差が生まれる。 ⑤今は公共交通の利用者は少ないが 2～3 年後には増加する、公共交通の便数削減は再検討を要する。 ⑥休日の路線バスなくなり不便。路線バスも廃止や削減が目立つが、名古屋への直通バスは平日でもかなりの利用がある。 ⑦民間企業は儲からない路線は止める。儲からない路線こそ市役所がカバーして欲しい。 ⑧60 代だが今後年を取ると交通の不便さを感じると思う。公共機関（特にバス）を増やして欲しい。 ⑨バス停の間隔を短くしてほしい、歩道にベンチが欲しい。昼間のバスは小型で良いのではないかと ⑩免許の返納により外出が困難になる。高齢者の引きこもりをなくし、健康増進のためにも足の確保を真剣に考えて欲しい。犬山市はタクシー初乗り料金の補助チケットある。ある年齢になったらフリーパスがあると良い。免許返納してもメリットがない。 ⑪昼間 200 円バスは有難い。 ⑫中心地は交通の便が充実しているが、一步出ると不便 ⑬地域の拠点や多治見駅の中心に施設を集約するのも分かるが、そこまでの交通手段の確保は必要。 ⑭公共交通機関を整備は、あらゆる施策につながる。防災対策、快適な居住環境の整備、市民活動の活性化支援、生涯学習の推進、中心市街地の活性化などにもつながる。 ⑮道路が整備されると他市からも人が入ってくる。人口減少対策にもつながるのではないかと。 2. 環境 ①町内から若い家族がいなくなり、高齢者ばかり。若者の人口減少対策として、働く場・学ぶ場（幼稚園～大学）病院（婦人科・小児科）託児所をつくり、安心して子育てができる市にすること。 ②これからどんどん高齢化する姫。買い物等もっと力を入れて欲しい。田んぼが売れない為、住宅ができない、休耕も多い、発展なんかしないと思う。 ③多治見市街への渋滞、お店も少ないこともあり、姫地区の生活圏（芸術・文化も含めて）は可児市である、多治見市よりも情報が入ってくる。 ④近くにコンビニがない、スーパーもない、パローが移動販売を始めたが、区域内各所で青空市場など開催し、買物難民が出ないような方策を取って欲しい。 ⑤医療機関が近くにあってほしい(昔は南姫診療所があった)	

⑥健康寿命を延ばすため、運動できる場の提供が必要（たとえば大畑マレット場の閉鎖に伴い華立マレット場の補助など）

⑦市内の公園は設備が不十分。孫は名古屋など郊外に出かける。子どもが遊べる遊具を全てでなくとも、拠点となる公園を整備して欲しい。魅力ある公園は子どもや高齢者など交流できる場ができる。

⑧公園内で犬の放し飼い・ゴルフ練習などを規制して欲しい。（子どもが帰宅後公園で遊べない）

⑨ふれあいセンターの隣の駐車場が広いため公園を作ったらどうか。

⑩水道等公共料金が他市より高い。

3. 子育て・教育

①「4・3・6・3 たじみプラン」が浸透していないのではないかな。みんな自分の生活が大事で自分主体なのはわかるが、多世代が交流することにより、まちが潤うのではないかな。

②児童館は他市より多いが古くて狭いところが多い。小さな子どもを遊ばせようとは思わない。施設だけでなく中身も充実させてほしい。

③映画館など楽しめる娯楽施設がなく、魅力のないまちである。それが、子育て世代の他市への転出に繋がっていると考え。

④母子家庭への支援が必要。

⑤親への教育が必要。

⑥小学校トイレやクーラー設備の充実を望む。

⑦南姫小学校の児童・中学校の生徒数が減少しており、小中一貫になるということを聞くがどのように考えているのか。

⑧高齢者が元気に住めるまちづくり（例えばより近場に生涯学習があるとよい）

4. にぎわい

①多治見は犯罪・災害も少なく温厚な市民のまちだと思う。

②日本一暑い事だけでなく、住みやすいまちをPRして移住者への取り組み強化が必要。

③多治見市は好立地でどこに行くにも便利。企業誘致・テーマパークなど人が集合するような雇用を生み出す様、積極的にアピールして欲しい。

④永保寺や修道院のPRにもっと力を入れて欲しい。多治見の大切な宝だと思う。

⑤モザイクタイルミュージアムだけでなく、もっと上手に観光資源をPRできないか。

⑥若者のUターンを促す活動が必要。

⑦名古屋などの都市部で若者に対して多治見市のPRを行うべき。（キャッチコピーが必要）

⑧多治見駅周辺に魅力はない。駅周辺の開発が必要。

⑨駅周辺の開発だけでない。新町・広小路商店街の衰退が著しく、おりベストリートも限界があり、リピーターは少ない。この地域の大開発を望む。

⑩まちに若者が少ない。商店街も多くは閉まっており活気がない（後継者もいない）。若い人を呼んで、若い人が集まるような魅力的なお店をやってもらい、補助したらどうか。

⑪意匠研卒業生と陶器関連の施設の企画（作陶・絵付け、焼成の一環した体験型ミュージアムなど）地場産業のPR。例えば、県外の友人を連れて行く場所がない（瀬戸市などにはある）

⑫モザイクタイルミュージアム周辺に立ち寄れる店がない。周辺の商店の整備・道の駅などで集客アップを図ると共に、川南の発展を願う。

⑬南姫地区は宅地化もできない。企業誘致で雇用も生まれ、若い世代の人口確保にもつながる。地域が活性化するようにして欲しい。

- ⑭企業誘致を進めているが、市民の雇用に直接つながっていないのではないか。日本ガイシ等、地元
の雇用の場を生んでくれるような企業に誘致して欲しい。
- ⑮自分の住んでいる団地に空き家が増えてきたが、そこに子供世帯を呼び寄せる例がいくつも出てき
た。ちょうど良い距離感で助け合ってとてもうまくいっている様子。こういった例が増えると、団
地も活気が出てくる。
- ⑯リフォームの補助があっても知られていない。
- ⑰空き家が目立ってきた。空き家対策に本腰を入れて欲しい。
- ⑱昔は地域で餅つき大会などをやっていたが活動が消極的になっている。地域活動が活発化するよう
に働きかけることで、多世代の交流ができるようになる。
- ⑲農業に対する政策を強化。農業の担い手が減っている。空農地が多くなっており対策が必要。
- ⑳買い物難民への対策（青空市場など）
- ㉑過疎な割に自治会での行事が多い。町内会で役が多く、町内会に入らない人が多い。
- ㉒高齢者の割合が増えるこれからは、もっと我々高齢者のパワーを活用すべき。
- ㉓老人会に団塊世代が全然入ってこず、新規会員不足に悩んでいる。
- ㉔高齢化が進んできているものの、高齢者が自治会などの行事になかなか参加しない。出てくるのは
同じ顔ぶれ。全国で高齢者対策が充実している事例を教えて欲しい。

5. 防災

- ①防災無線の情報は結論を先に放送して欲しい。聞き取り辛い（可児市の放送が良く聞き取れる）
- ②何でも地域にがやるといのは難しい。地域で協力が得られない。プライバシー問題が壁となる。
- ③近頃災害が頻発し、住民の意識（関心）は高まっていると感じている。
- ④災害避難所の充実。川の氾濫があると避難所まで行けない。
- ⑤山が乱開発されて、土砂崩れが心配である。
- ⑥空き家対策、防火の心配。

6. その他

- ①公共機関の廃止が多い中、高齢者の社会参加が今後どうなるか。過去5年と今後10年先を見据えた
施策が見えてこない。
- ②行政はまずは市民の声に耳を傾けていただきたい。
- ③市職員は市政の行く末の建設プラン・アイデアのため働くべき。市長の考えを職員がアイデアを出
し実行すること。一人一人が自覚を持って働いてほしい。能力のある人を雇用して欲しい。市長・
職員は知恵を出し合い職員一丸となって事にあたって欲しい。アイデアの先取りが必要。
- ④市の施策など必要な情報が市民まで届いてこない。高齢者にも理解できる情報が必要である。